

高知憲法速報

No.272 2011. 10. 21

発行;高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

衆参憲法審査会、委員選任を強行 10月20日

10月20日始まった第179臨時国会冒頭の衆参両院本会議で、改憲原案を審議する憲法審査会の委員が選任されました。もともと民主党は、改憲手続法が自民・公明党によって2007年5月に強行成立させられた後、国会ごとの始動の機会にも、また政権に就いた2009年以降も委員を出さずにきました。背景には「国民は改憲を望んでいない」「憲法審査会始動反対」「改憲手続法は廃止せよ」の世論と運動がありました。今回の方針転換は、「民主党は『ねじれ国会』の打開に向け、審査会の始動を要求してきた自民公明両党との関係に配慮したもの」と指摘されています。20日には憲法集会実行委員会の主催で「憲法審査会始動反対」を掲げた緊急院内集会が開かれ、70人が参加しました。

選出された委員には改憲派がずらりと顔を並べています。衆院では、民主党から、新憲法制定議員同盟の顧問に復帰した鳩山由紀夫元首相、96条議連呼びかけ人代表の小澤鋭仁元環境相、同党憲法調査会長の中野寛成元国家公安委員長らが、自民党からは、保利耕輔同党憲法改正推進本部長、同事務局長の中谷元元防衛相、石破茂元防衛相、96条改正議連代表の古屋圭司衆院議員らが選ばれました。

参院では民主党から鈴木寛同党憲法調査会事務局長、直嶋正行元経済産業相、自民党から中曽根弘文・新憲法制定議員同盟幹事長代理などが選ばれました。

憲法を変えることではなく憲法の理念にのっとり、震災からの復興と原発事故の収束、放射能対策などこそ急がねばなりません。

衆院選挙制度に関する各党協議会設置

民主党が呼びかけた「衆議院選挙制度に関する各党協議会」の初会合が19日国会内で開かれ、21日以降協議を進めることになりました。座長は民主党幹事長代行の樽床伸二氏、民主3人、自民・公明各2人、その他の政党各1人が参加します。

民主党は小選挙区の「5増6減」「10増6減」と比例代表の80削減、自民党は小選挙区の「0増5減」と

比例代表の30削減、公明党は「小選挙区比例代表連用制」「小選挙区比例代表併用制」「新たな中選挙区制」の3案を検討中。3党とも現行小選挙区の「1人別枠方式」廃止を掲げています。

民主党、自民党が一票の格差の違憲状態の是正だけでなく、比例定数削減を狙っていることを見逃さず、比例定数削減に反対することが求められます。また現行の枠内ではなく、比例代表など民意を反映する選挙制度に改め、その中で1票の格差を是正すること、そのためにも小選挙区制を導入した細川元首相らが、「小選挙区制が政治家と政治の劣化をもたらした」と述べているように、小選挙区制そのものの告発が求められています。19日には憲法会議など11団体の呼びかけで国会集会が開かれました。

すべての原発の廃炉をめざそう 10・29原発さようなら高知県民のつどい

日時;10月29日(土) 14時~

場所;高知市役所前広場で集会後パレード

スローガン;政府・東電は福島原発事故の責任を果たせ。政府は情報を隠すな。伊方原発の再稼働を止めさせ廃炉にさせよう。

主催;実行委員会 平和運動センター、平和委員会など19団体が参加

四国電力伊方発電所の原発を止めよう

四国電力伊方発電所は1号機(56.6万kw)1977年9月運転開始(建設費774億円)、2号機(56.6万kw)1982年3月運転開始(建設費1255億円)、3号機(89万kw)1994年12月運転開始(建設費3190億円)と3機の加圧水型原子炉を持ち、3号機では2010年3月からプルサーマル運転を行いました。現在1号機と3号機が点検のため運転停止中で、2号機も来年1月には点検のため停止する予定です。再稼働を認めず廃炉をめざすことが可能になってきています。伊方は活断層がすぐ近く(6~8km)を走っており、570ガルの揺れしか想定していない原発の危険性はますます大きくなっています。2006年6月4日伊方原発のプルサーマルシンポジウムで四国電力は、政府保安院原子力安全広報課長の勧めに応じて、四国電力社員、関係企業社員あるいは各種の地域団体に属する者に対してシンポへの参加や発言の呼びかけを実施し、事前に質問・意見の参考例をまとめたメモを配布するなど「ヤラセ」を行っていたことが報道されました。